



共 成



昭島市立共成小学校
校長 森本 弘子
令和7年5月30日

学校ホームページ <http://www.city.akishima.ed.jp/~kyosei/>

「やさしい」を考えよう ～心に太陽を～

副校長 鳥海 剛

令和7年度の学校生活がスタートして、2か月が経ちました。6年生は日光移動教室を実施し、5年生はハケ岳移動教室へ出発しました。1～4年生も学校探検など、日々、学習や学校行事に取り組んでいます。

さて、保護者会で今年度の学校経営方針で、「学校は児童の安心基地」であるために、児童が「信頼できる人が常にそこにいてくれる」「自分のことを気にしてくれている」「自分のことをわかってくれている」という安心感に包まれて学習できるように努めると説明させていただきました。毎朝登校してきた児童が元気に挨拶をしてくれたり、休み時間元気に遊んだり児童のたくさんの笑顔に出会えることができました。笑顔は、自分の心に力を与えてくれます。笑顔は、周りの人たちにも力を与えてくれます。それが、安心感につながり、自己決定し、主体的に行動できるようになります。本校の教職員にも「先生の笑顔が何よりも大切です。」と年度当初から伝えていきます。児童との毎日を楽しみ、一人一人を大切に、失敗やその児童の課題と一緒に考えていけるよう「心に太陽を」のスローガンを常に意識して取り組んでいます。

そして、27日(火)のお話朝会では、「やさしい」について全校で考えてもらいました。

①教室に鉛筆が落ちていたら②友達に駄目だと分かっていることを頼まれてしまったら など

共成小のみんなは、「そんなことは当たり前だよ。」「落ちていたら拾ってあげるよ。」「駄目なことはやらないよ。」と自信満々に2択のクイズに答えていました。児童の答えを確認した後、相手のことを考え、その行動が善いか悪いか判断して行動してほしいことを伝えました。『当たり前のことを、当たり前に行動する』ことは、簡単なようで、人任せにしがちです。共成小の児童や職員、一人一人が意識して、「やさしい言葉を大切にする学校」をより推進していきます。



6月は、ふれあい月間です。児童には1学期の前半の生活を振り返らせ、後半に向けて取り組ませていきます。どの児童にも得意なことや不得意なことがあります。上記の図のように、「やってみよう」「なんとかなる」と挑戦させ、お互いに認め合って学習できるように教職員一同努めていきます。

6月になり 空調工事が本格的に

全学年の保護者会とプリントでお知らせをさせていただいた通り、空調工事を6月から本格的に着工いたします。1学期は、専科棟。夏休みは職員室と全教室、廊下の天井。2・3学期は、教室棟。と順番に実施します。体育館と校舎の間が通れなくなったことなど、御不便な点や御協力をいただく点多々あると思います。できる限りの説明をこれからもして参りますので、御不明な点は連絡をいただけたらと思います。